

2011年12月期 第2四半期決算 参考資料<連結>

(単位:千台・億円)

	前第2四半期累計実績		当第2四半期累計実績		期初通期見通し (2月15日発表)		通期見通し (今回発表)	
	2010年1月～6月		2011年1月～6月		2011年1月～12月		2011年1月～12月	
売上高	6,762	(+16.7%)	6,631	(△1.9%)	13,500	(+4.3%)	13,500	(+4.3%)
国内売上	728	(+11.7%)	698	(△4.1%)	1,400	(△1.7%)	1,500	(+5.4%)
海外売上	6,034	(+17.3%)	5,934	(△1.7%)	12,100	(+5.1%)	12,000	(+4.2%)
営業利益	350	(-)	415	(+18.6%)	530	(+3.3%)	680	(+32.5%)
<営業利益率>	<5.2%>		<6.3%>		<3.9%>		<5.0%>	
経常利益	438	(-)	488	(+11.4%)	550	(△16.8%)	780	(+17.9%)
<経常利益率>	<6.5%>		<7.4%>		<4.1%>		<5.8%>	
四半期(当期)純利益	238	(-)	290	(+21.8%)	200	(+9.3%)	350	(+91.3%)
<四半期(当期)純利益率>	<3.5%>		<4.4%>		<1.5%>		<2.6%>	
増減要因 (営業利益ベース)	(増益要因)		(増益要因)		(増益要因)		(増益要因)	
	売上増加による 荒利の増加	293	売上増加による 荒利の増加	139	売上増加による 荒利の増加	225	売上増加による 荒利の増加	319
	調達による 原価低減	38	販管費の減少	71	調達による 原価低減	120	販管費の減少	123
	販管費の減少	203	調達による 原価低減	30	販管費の減少	43	調達による 原価低減	120
	減価償却費の減少	86	減価償却費の減少	21	生産変動による 限界利益の増加	20	減価償却費の減少	20
	国内生産回復に よる限界利益増加	95	商品構成変化等	28	商品構成変化等	30	商品構成変化等	7
	研究開発費の 遅れによる減少	14	(減益要因)		(減益要因)		(減益要因)	
	原材料価格変動影響	△19	為替の影響	△175	為替の影響	△237	為替の影響	△229
	為替の影響	△1	研究開発費の増加	△30	原材料価格変動影響	△100	原材料価格変動影響	△115
	商品構成変化等	△21	原材料価格変動影響	△19	研究開発費の増加	△83	研究開発費の増加	△78
減価償却費の増加				減価償却費の増加	△1			
為替レート (US\$)	91円		82円		82円		81円	
(換算レート) (EUR)	121円		115円		110円		113円	
設備投資	135		216		520		520	
減価償却費	186		163		380		360	
研究開発費	262		305		650		650	
有利子負債残高	3,364		3,224		2,820		2,750	
業績評価 (営業利益ベース)	3年ぶりの増収 3年ぶりの増益		2年ぶりの減収 2年連続の増益		2年連続の増収 2年連続の増益		2年連続の増収 2年連続の増益	
二輪車販売台数合計	3,478		3,469		7,760		7,246	
国内	51		55		88		101	
海外	3,427		3,414		7,672		7,145	
北米	35		31		69		65	
欧州	135		108		218		190	
アジア	3,045		3,008		6,841		6,309	
その他	211		268		545		580	

*カッコ内:前年同期比の増減率%(小数点第2位を四捨五入)

※上記の連結業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき、当社が合理的と判断した見通しであり、実際の業績は、経営環境の変化、市場の需要動向、為替の変動等により、大きく異なる可能性があります。